



通所 支援事業の ひとこま



通所支援では、さまざまな療育活動を行っています。その1つに「制作」があります。制作活動は身体をしっかり、じっくり動かして作り上げていきます。普段は病院内のギャラリーや通所支援出入口に展示していますが、今回は「絵本づくり」にチャレンジし、2冊の絵本を応募しました。1つは岐阜女子大学が開催しているコンクール、もう1つは津市が開催しているコンクールです。

岐阜女子大学が開催している「第10回手づくり絵本コンクール」は、0歳～3歳までを対象としたブックスタートを意識した絵本であり、題材・テーマは自由です。「これは、応募しなくては!!」と思い、みんなで「ゆび」で年齢の数だけスタンプしました。

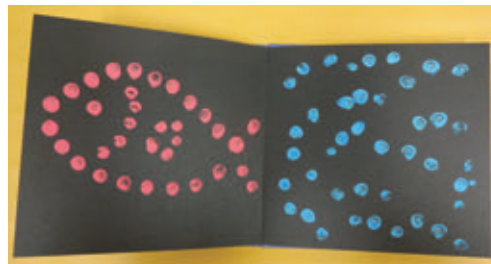
もう一方、津市が開催している「第10回津市手づくり絵本コンクール」は、津市のま

ちづくりである「読書の活動が活発なまちを創造する」の一環として実施されています。通所支援は、一般部門で応募しました。こちらはどちらか片方の「あし」形を取りました。

障害があると“できない”ことに目が向けられる傾向にあります。重症心身障害児(者)であっても、みんなと一緒に何でも変わらない「大切な1人の人間」であることを改めて伝えたいと思い、身体の一部をテーマに選び、作品を作成しました。2019年10月18日(金)～10月27日(日) 9時～16時(火曜日の休館日を除く)は、津図書館2階視聴覚室にて公開していますので、皆さんにもご覧いただけます。ぜひ、一度お立ち寄りください。

(主任児童指導員 丸澤 由美子)

(主任児童指導員 丸澤 由美子)



やまばとギャラリー 情報コーナー information



まっすぐな線、丸い線など、色々な線で模様が描かれていて、それぞれの患者さんらしさが表れていると思います。秋らしい雰囲気を感じていただけたと思いますので、是非見に来てくださいね!



(児童指導員
白松 美優)



今月のやまばとギャラリーは、トイレトペーパーの芯、包装紙、画用紙を使って「トンボ」を作りました。好きな色のペンを使って、羽の模様を描きました。ペンを持つのが難しい患者さんもたくさんいますが、スタッフと協力しながら一生懸命に描きました。細い線、太い線、

5病棟の生活のひとこま 51

今回は8月と9月の誕生会を紹介します。

8月の誕生会は、「桑の木」の皆さんに歌紙芝居を披露していただきました。「歌紙芝居ってどんなもの?」と思われる方もいると思いますが、お話の合間に歌ったり、ギターを弾いたり、小道具(漁師さんなど)がでてきたりするものです。たくさん的小道具を持って、ひとりひとりの患者さんを周りだけだったので、全員の患者さんが近くでより楽しんでもらうことができ、とても良かったです。

9月の誕生会は、皇學館大学のよさこいサークル「雅」の皆さんが来てくださいました。34名もの学生さんに踊っていただいたので、迫力満点!!学生さんの若さパワーと華やかな衣装のまぶしさに、驚いた様子の患者さんも多く、良い刺激になったのではないかと思います。



これからも色々な方に来ていただき、楽しい行事を作っていきたいと思えます!(児童指導員 白松 美優)